

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第270号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2008年10月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

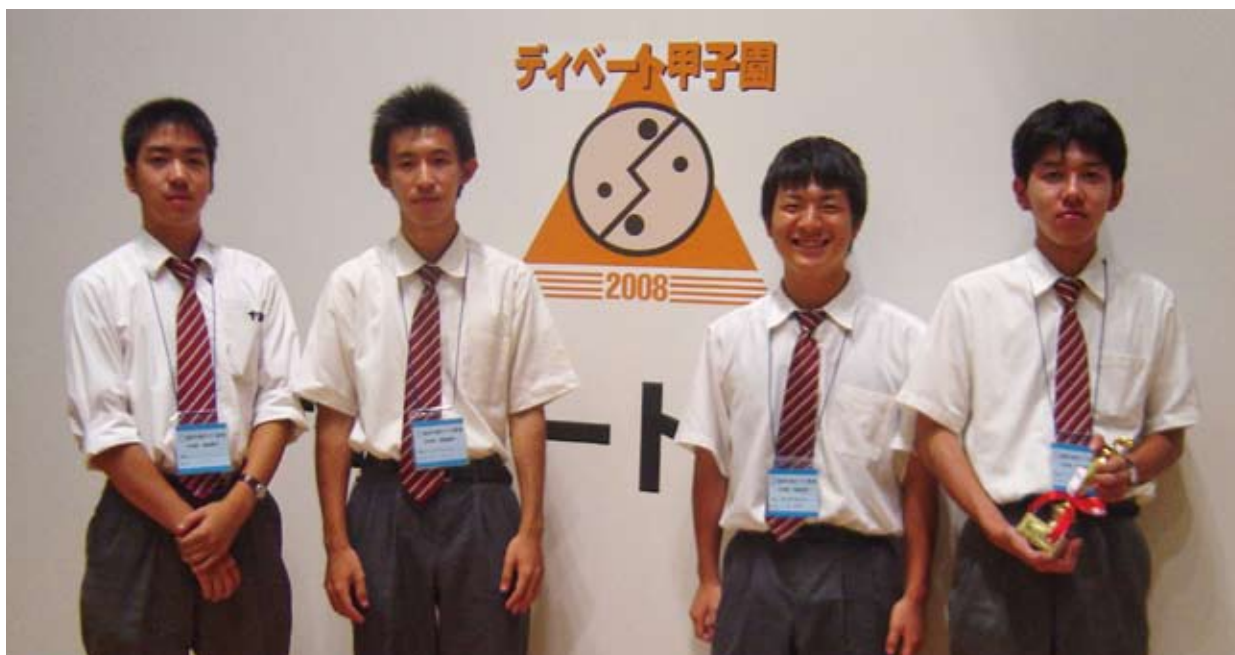
Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

ディベート甲子園 全国大会第3位(ディベート研究同好会)
学園オリンピック(文化部門)優秀賞7名・
東海大学適性審査による合格者22名のうち
特別奨励入学制度による合格者9名



ディベート甲子園で全国3位に輝いたディベート研究同好会(左から佐山君、岩崎君、三並君、田牧君)



第2回特別奨励内定者のみなさん
後列左から長岡さん、花本君、小野関君、召古さん、石川君
前列左から川久さん、菊地さん、野澤さん、日山君



学園オリンピック文化部門受賞のみなさん
後列左から、吉田さん、高橋さん、長岡さん、戸張君、田牧君、金山君
前列左から、召古さん、中山さん、三田君、山田君、石川君、伴さん、高橋君

栄光を目指して

2008年度 東海大学学園オリンピック

文化部門

今年度の学園オリンピックにおける本校の1次審査通過者は17名でした。1次審査を通過した生徒は夏季休暇中に東海大学孺恋高原研修センターでのセミナーを受講し、そこで最終の2次審査を受けました。その結果、本校生徒7名が優秀賞、2名が奨励賞、さらに音楽部門では1名が金賞、1名が銀賞を受賞しました。3年生で優秀賞を獲得すると、東海大学付属高等学校特別奨励入学制度規程第2条により、適性審査のある学科を除き本人が希望する学科に入学が認められ、さらに25万円の奨学金が授与されます。希望を星につないで頑張ってください。おめでとう。

部門別 受賞者

国語	優秀賞	召古 藍子	3年	2組	芸術【音楽】	金賞	吉田 未来	3年	2組
	奨励賞	中山 瑠璃	1年	8組		銀賞	高橋美穂子	3年	1組
数学	優秀賞	三田 誠	3年	11組	芸術【造形】	優秀賞	長岡 史恵	3年	9組
	優秀賞	山田 実俊	3年	11組		知的財産	優秀賞	戸張 翔太	2年
理科	優秀賞	石川賢太郎	3年	11組	ディベート	優秀賞	田牧 陽一	3年	1組
英語	努力賞	高橋 瑛大	3年	8組		奨励賞	金山 照良	2年	2組
	努力賞	伴 ゆりか	3年	4組					

優秀賞・奨励賞を受賞した皆さんの喜びの声を紹介します。



国語部門

召古 藍子

3年2組
川崎市立宮崎中学校出身

参加して一番良かったと思うのは、

各校から集まって来た人たちと本について語り合えたことです。自分とは全く違う価値観を持った友達と意見を交換することで、自分の世界を広げられたと感じました。



芸術(造形)部門

長岡 史恵

3年9組
墨田区立文花中学校出身

他の付属生との共同作業や作品を

見て、自分にはないものをみつけられ良い刺激となりました。毎日、今までやったことがない課題が出され大変でしたが、大学の先生方からたくさんのアドバイスをいただき、とても勉強になりました。



理科部門

石川 賢太郎

3年11組
北区立富士見中学校出身

1・2年生で出来なかったことに挑戦し

たいと思い、今回学オりに参加しました。学オリでは地上10mの所から水で満たしたホースを垂らすことで大気圧を調べる実験等を行いました。机に座って学ぶのではなく、楽しみながら学ぶことができるので皆さんもぜひ挑戦してみてください。

2008年度 東海大学学園オリンピック

スポーツ大会

種目	順位	学年	氏名
サッカー 男子	優勝		
陸上競技 男子走幅跳	3位	1年	白滝 理博
卓球 男子団体	2位		
卓球 男子シングルス	3位	3年	長岡 周
ソフトテニス 男子団体	3位		
バドミントン 男子団体	2位		
バドミントン 女子団体	3位		
柔道 男子100kg級	2位	2年	前田 拓哉
柔道 男子66kg級	3位	1年	具志堅 翔
柔道 女子	2位	2年	伊原 理乃
剣道 個人の部	ベスト8	3年	江崎隆太郎



航空操縦学専攻(パイロット養成) 本校から3名合格内定



小野関 裕

3年11組
バンコク日本人学校出身

私がパイロットになろうと思った理由、それは飛行機が好きで、空が好きで、そしてどんなときにも冷静でみんなから頼られるパイロットの姿にあこがれたからです。

この夏の適性検査のために健康面の注意はもちろん英語力の向上などにも努めてきましたが、特に悩んだのは志望理由です。パイロットに是が非でもなりたい、でもなぜ、パイロットになりたいのか?いままで漠然としていた理由からこれという理由にたどり着くまでに時間がかかりました。自分でその理由をはっきりさせない限り、夢には決してたどり着けないと思ったからです。

また、部活動にも力を入れました。進路には直接関わらなくとも、部活動は部活動、勉強は勉強で自分の好きなことと勉強の両立ができるよう頑張りました。

大学生活はとにかく勉強に励み、友だちや家族と過ごす時間も大切にしていきたいです。

これからもパイロットになることを夢見た理由を決して忘れずに、頑張っていきたいと思います。



丸岡 俊之

3年6組
私立横浜中学校出身

幼い頃に乘った飛行機でコックピットに入れてもらい、パイロットが飛行機操縦している姿に憧れたのが、パイロットを目指し始めたきっかけです。また、大きな機体に400人近くの人を乗せて大空を悠々と飛ぶ姿にも強く憧れていました。

しかし、パイロットを目指すのはとても険しい道です。僕は航空操縦学専攻を受験するまでも、何度も諦めそうになりました。そんな時に助けになったのが、部活動の仲間やクラスの友達、先生方、そして親の言葉でした。僕が航空操縦学専攻に合格できたのは、自分自身が積んできた努力よりも、何より周りで支えてくれた人達のお陰だと思っています。

大学に入ったら、今まで以上に厳しい生活が待っており、夢を実現させるためには、まだまだ努力が必要だと感じています。自分に負けないように、そして今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも一生懸命やりたいと思います。

花本 航君につきましては、紙面の関係上、次号にて掲載させていただきます。

第2回東海大学特別奨励入学制度9名・特別技能推薦1名の合格内定

今年度の第1回東海大学特別奨励制度による合格内定者40名は既に本誌7月号で発表いたしました。今回は第2回の発表です。東海大学では医学、看護、芸術などの各学科への進学希望者は、学力に加えて適性や精神力、技能などの面で審査を受けなければなりません。その審査の合否が8月末に発表されました。そのうち成

績優秀者11名は今年度の第2回特別奨励入学制度(特奨)による合格内定に該当します。また学園オリンピックで優秀な成績を残した3名の3年生もこの制度に該当します。双方合わせて9名に25万円の奨学金が授与されます。今後も努力を惜しまず、己の才能に磨きをかけて欲しいと思います。

東海大学特別奨励入学制度

氏名	組	進学先	出身中学
川久 沙織	3年 7組	健康科学部 看護学科	川崎市立西中原中学校
菊地 友香	3年 7組	健康科学部 看護学科	横浜市立本牧中学校
野澤菜美奈	3年 8組	健康科学部 看護学科	川崎市立菅生中学校
日山顕三郎	3年 11組	健康科学部 看護学科	横浜市立橋中学校
長岡 史恵	3年 9組	教養学部 芸術学科 デザイン学課程	墨田区立文花中学校
花本 航	3年 5組	工学部 航空宇宙学科 航空操縦学専攻	練馬区立開進第一中学校
小野関 裕	3年 11組	工学部 航空宇宙学科 航空操縦学専攻	バンコク日本人学校
召古 藍子	3年 2組	情報通信学部 情報メディア学科	川崎市立宮崎中学校
石川賢太郎	3年 11組	海洋学部 海洋生物学科	北区立富士見中学校

東海大学特別技能推薦制度

氏名	組	進学先	出身中学
高橋 雄輝	3年 1組	体育学部 体育学科	横浜市立芹が谷中学校

夏休みの活動報告

ディベート研究同好会

ディベート甲子園全国大会 第3位
田牧陽一(3年1組) 三並拓馬(3年1組)
佐山喬是(3年1組) 岩崎誠仁(3年5組)
最優秀指導者賞 梶川克之先生(顧問)



放送部のメンバー

放送部

NHK杯全国放送コンテスト出場

軽音楽部

東京都軽音楽コンテスト決勝大会準グランプリ
南関東高等学校軽音楽コンテスト出場
奥貫仁美(3年4組) 前澤由夏(3年5組)
生駒千理(3年11組)



南関東高等学校軽音楽コンテストにて

野球部

第90回全国高等学校野球選手権記念大会 東東京大会 準優勝

希望を星に つないで

なぎなた 国民体育大会出場

9月28日～29日 大分県立日出陽谷高等学校体育館
3年11組 和田うらら

東海カルチャーセミナー

第3回を迎える「東海カルチャーセミナー」は、学生チームで初めて「ルマン24」に参戦した東海大学チームを監督として率いられた、東海大学総合科学技術研究所教授の林義正先生にご講演いただきました。夏休み中にもかかわらず、約600名の保護者、生徒が出席、吹奏楽部の演奏の後、林先生にルマン参戦に至った経緯について、映像を交えて熱く語っていただきました。

後援会学年部副部長 生駒 和子

8月23日(土)、恒例の「東海カルチャーセミナー」が皆様のご協力のもと開催されました。

第1部は、今年オーストリアでのコンクールで第1位を獲得した吹奏楽部の演奏でした。クラシックにとどまらず、いろいろなジャンルの曲の演奏に、大変魅了されました。

第2部では、「ルマン24時間耐久レース」に大学として初出場した東海大学チームの監督を務められた、林義正教授の講演でした。目標のはっきりしないだらだらした学生生活を送っていた学生がこの耐久レースに参加するという体験によって生きがいを見つけると、こんなにも変わるものなのだと、改めて考えさせ



られました。車の技術的な難しい内容も、わかりやすく説明していただき、また子育てするのも役に立つお話や、子供たちにも聞かせたかったお話など、参加された保護者の方々にも大変好評で、有意義な一時を過ごさせていただきました。素晴らしい講演をありがとうございました。



2008年度学校運営方針

全教科によるSSH活動への積極的な取り組みと女子理工系進学者推進

文部科学省から2004年度に採用されたSSH活動も、2006年度でその任期を終え、「数学と理科の魅力を実感させて、理工系分野へ進学させ、国際性を備えた人材育成をはかる高大接続を考えた一貫教育プログラムの研究開発。また、社会とつながり、男女共同参画を推進する学校教育・学習のための、連携・企画、評価、交流・成果普及等の手法に関する研究開発」を研究開発課題として、2007年度からさらに5年間の研究の延長が認められました。

また、東海大学が文部科学省から平成18年度より「女子中高生理系進路選択支援事業」に、本校も学園から「女子理工系進学モデル校」にそれぞれ指定され、女子中高生の科学技術分野に対する興味・関心を喚起し、理系への進路選択を支援する研究を推進することとなりました。

全教科によるSSH活動への積極的な取り組み

- ①文部科学省SSH指定校としての3年間を終え、新たなる5年間の活動を開始するにあたり、短期目標および長期目標を設定し、より充実したSSH活動を推進する。
- ②第3学年SSHクラスでは、「課題研究(卒業研究)」の授業において、第2学年SSHクラスでは、「課題実験」の授業において、より発展的な探求活動を目指す。
- ③全教科が連携した本校独自のプログラム「科学倫理」のさらなる充実を図る。
- ④数学においては、理科の授業がスムーズに行われるよう連携し、新たなカリキュラムの構築を行う。
- ⑤本校中等部や普通クラス、および近隣の小学校、中学校、高等学校との連携をはかり、成果の普及に努める。
- ⑥「国際化」に対する取り組みを研究する。



女子理工系進学者推進

女子理工系進学モデル校として、女子生徒が理工系学部・学科への興味関心を高めるような教科指導や進路指導の研究を推進し、その成果を各付属校に発信する。



中 等 部 1 学 年 だ よ り

東海大学の湘南校舎内のプールで1年生にとっては中等部に入学して初めての水泳実習が行われました。本校の水泳実習は年2回、7月と9月に行われます。広いプールで普段と違った環境で伸び伸びと泳いでいる生徒たちは笑顔で溢れていました。また今年度1年生は水泳の前後で7月にはディスクゴルフを、9月には体力測定を行いました。なかでも、初めて挑戦したディスクゴルフは生徒たちにとっては水泳と同じくらい楽しく、印象に残ったようです。

思い出に残った ディスクゴルフ

松岡 淳也

1年A組 大田区立徳持小学校出身

僕は7月12日に神奈川県にある東海大学湘南校舎で、ディスクゴルフを体験しました。

ディスクゴルフとは、普通のゴルフで使うボールの代わりにフリスビーを投げ、カップの代わりにゴール（バスケット）に入れる競技です。ルールはゴルフとほとんど同じです。

まず、2人1組になりフリスビーを投げ合い、フリスビーに慣れました。その後で4人1組になりディスクゴルフが始まりました。1人ずつ交代で投げるルールでしたが、僕は2人で投げ合っていた時に肩を痛めてしまったので僕の番がくると変な方向に飛んでばかりでした。

結果は最下位の方でしたが、楽しかったし、みんなも楽しめたと思うのでよかったと思います。初体験のディスクゴルフは僕の楽しい思い出になりました。

水泳実習で 体験したこと

藤澤 英子

1年B組 港区立青山小学校出身

私は、湘南校舎で初めての水泳実習をすると聞いて、とても楽しみにしていました。

最初は、ディスクゴルフをしました。初めてだったのですが、実際にやってみると意外と簡単で、かごに入るまでの回数がどんどん減っていききました。

その後昼食をとり、午後から水泳実習でした。泳ぎのレベルによって8つにコースが分かれており、私は“100m泳げて、かつ平泳ぎ、クロール、背泳ぎができる”という2番目にレベルの高いコースに挑戦しました。ついていけないのか不安もありましたが、先生がきちんと教えてくれるので、自分なりに上手く泳ぐことができました。私は平泳ぎのキックが得意ではなかったのですが、先生に教えてもらってだいぶ早く泳ぐことができるようになりました。

普段はあまり水泳をする機会がないので、今回の水泳実習で良い体験ができたと思います。



中等部2学年だより

2年生にとっては2年目となる水泳実習が行われました。東海大学の広大なプールに圧倒されていた昨年度に比べ、今年度は少し心の余裕を持ち水泳を楽しんでいました。先生方の熱心な指導の末、1年生の時初めて泳ぐことの楽しさを覚えた生徒も、今年度は自分なりに目標を持って挑戦したようです。そして、見事25m泳ぎ切ることができ達成感にあふれた笑顔の子もいました。また上級コースでは指導をして下さった先生を交え、ふた組に分かれて競争するなど本格的に泳ぎこんでいる姿も見られました。「また来年が楽しみ!」と生徒たちは今から1年後を楽しみにしています。

いい気分

阿部 ゆりな

2年B組 柏市立大津ヶ丘第一小学校出身

楽しかった水泳が終わり、疲れているかと思いきや、ドッジボールの時間が近づくにつれてみんなどんだんやる気が出て、気合いが入りはじめました。

各クラス3つのチームに分けられ、私は1班になりました。最初はA組1班 vs B組2班で、私は逃げ続けて最後まで残ることができました。1回戦は見事に私たちのチームが勝ち、2回戦へと進みました。2回戦で私はボールをあてられてしまいました。たくさん応援しました。みんなが頑張ったおかげで2回戦も勝つことができ、私たちのチームは優勝しました。これもみんなで一生懸命頑張った結果だと思います。

はじめは嫌がっていた人たちも最後には本気になっていて、すごく楽しかったです。真剣勝負の後、みんなで汗をふきながら「おつかれー」と声をかけあう時がとていい気分でした。

大変だった水泳実習

中山 裕之

2年A組 大田区立山王小学校出身

今回湘南校舎で僕にとって2年目の水泳実習がありました。僕は、水泳は得意なので上級コースを選びましたが、陸上部の練習で足を少し痛めていたせいで、バタ足などをする時は辛く大変でした。しかも僕が一番得意な平泳ぎで足がつってしまい、おぼれて死んでしまうのではないかなと思うような場面もありました。

僕は、こんなにも辛く大変だった水泳実習は初めてでしたが、それでも水泳実習はすごく楽しかったです。特に2チームに分かれて行ったりレーは、負けてしまいましたがとてもいい思い出になりました。今回の水泳実習でやっぱり水泳が楽しいということがわかったので、次の水泳実習のときには、足をつることなく、辛く大変でない、楽しい水泳実習にしたいと思います。



高校1学年だより

ひとことの重み

高校第1学年主任 米谷 昭人

何気ない一言に心が動いた経験はありませんか？何気ない一言が人の心を和ませる事があります。皆さんは、お弁当を作ってくれる保護者に「ありがとう」と言っていますか？ その一言がうれしいと感じます。当たり前のようにやってもらっている行為に「ありがとう」の一言を付け加えるようにしてみてください。みんなが

意識して何気ない一言を言い合ったら…楽しいですね。

逆に、何気ない一言が人の心を悲しませることがあります。軽はずみな発言が人を傷つける事があります。その様な言葉は絶対に言うてはいけません。みんなが意識して何気ない一言を言わなかったら…楽しいですね。

高輪台高等学校・中等部のみんなが一言を意識して楽しい学校にしましょう。

今やっていることは「勉強」ですか？

4組学級担任 吉田 恵美

皆さんは勉強していますか？勉強とは何なのでしょう？

かつてある高校生は勉強があまり好きではなく、単に「やらされている勉強」、「だらだらと身の入らない勉強」をしていました。当然希望する大学に落ち、専門学校に入学しましたが、ある時からまるで人が変わったように勉強したのです。5分、10分、時間があれば何処でもいつでも問題を解きまくっていました。様々な資格にも挑戦し、資格ゲッターを目指していたくらいです。そし

て大学生の時も変わらず鞆は重たい荷物で溢れ、問題を解きまくる日々でした。

なぜ、このように変わったのでしょうか？それはある目標が出来、崖っぷちに立たされたからです。そして「やらされている勉強」が「やらざるを得ない勉強」に、そして「自分から向かって取り組む勉強」へと変化し、今はまるでゲーム感覚になっているそうです。

いよいよ後期が始まりました。例えば野球部の生徒が野球の本を必死で読むのは、本当の「勉強」だと思います。数学や英語だけでなく、是非皆さんがそれぞれの目標を見つけて、崖っぷちに立つ前に積極的に自分なりの知識を得ようと、日々「勉強」して欲しい。



授業風景

高校2学年だより

進路について考えよう!! ~自分の将来に向けて、ラストスパートをするのは、今です~

2年生も2分の1が過ぎましたがどんな6か月だったでしょうか。過ぎてしまうと早いものですが、1年生のころより、何か自分自身に成長を感じたものはあったでしょうか。それとも何もなく過ぎてしまったでしょうか、どちらにしても、すぐに2年生は終わってしまうと思います。高校の3年間とは、人生の中でもとても成長を感じることのできる時期です。また、それに続く大学生活と、青春時代は、本当に貴重な時間だと思います。この7年間で人生の基礎を習得しなければなりません。特に高校2年生は、その先の大学への進路を大きく左右します。また、本年の3年生を見ると特別奨励入学と特別学力推薦で6月の下旬には、進学先の内定をうけた生徒が多数出ました。1・2年生の成績と3年の学園基礎学力定着度試験の成績でほぼ決まってしまうと言っても過言ではありません。ラストスパートをするのは、今です。これからの進路予定をもう一度確認しましょう。

《進路決定条件》

第1学年の学業成績(終了)
 第2学年の学業成績(半分終了) 総合成績
 第3学年の学業成績
 学園基礎学力定着度試験2回(1回終了)
 その他 生徒会活動、部活動、学校行事、
 出欠状況等(その他適性検査の学部あり)

●進路が決まるまでの今後の予定

2008年 9月 第2回進路希望調査
 10月 三者面談
 2009年 2月 第3回進路希望調査
 4月 学園基礎学力定着度試験
 6月 書類審査(小論文、進路指導票等)
 8月 適性審査(小論文、進路指導票等)
 9月 学園基礎学力総合度試験
 10月 出願(志望理由書、志願票等)



自分の将来の夢を考えよう

~学部・学科レポート(夏休みの課題)より~

「教養学部国際学科で学んでみたいこと」

南アフリカでのエイズ孤児支援ボランティア活動に参加して、親を失った子供たちと一緒に遊んだり子供たちを勇気づけたりできたらいいと思います。

「文学部歴史学科日本史専攻で学んでみたいこと」

江戸時代の大奥に興味があり、詳しく調べてみたい。今の時代では想像もつかない女性の世界が作られた背景や理由について学び、どのようなことが起こっていたのか。その陰にある内面にも触れてみたいと思います。

「文学部北欧学科で学んでみたいこと」

北欧の福祉に対する考え方を学び、現代の日本が抱える福祉・環境・平和・社会などの対するアプローチについて研究してみたい。また、実際に現地に行き、北欧の言葉で人間や自然に触れてみたい。

「文学部英語文化コミュニケーション学科で学んでみたいこと」

学ぶだけの知識でなく、社会に生かす知識を身につけ、グローバル化の進む国際社会で自分の視野を広げ人のためになる力を養いたい。

「体育学部体育学科で学んでみたいこと」

運動能力の低下や生活習慣病などの問題が増加している現代社会で、上手にスポーツと付き合っている能力を身につけるとともに、自分自身の運動能力の向上を目指したい。

高校3学年だより

ひと夏の体験

山口 恵美子

3年4組 学級担任

1年の半分が終わり、後期が始まりました。3年のみなさんにとっては最後の学期です。今となっては、あの長かった夏休みでさえ、遠い過去のようにです。高校生活最後の夏休みは、充実した日々を送れたでしょうか？部活動に励んだ人、受験勉強に明け暮れた人、友人との思い出作り…。楽しいこともあれば辛いこともあったと、各々がそんな体験をしてきていることと思います。

さて、私がこの夏休みに体験した(感動した)出来事を紹介したいと思います。毎年、部活動の生徒と共に様々な体験をさせてもらっているのですが、今年は部活動をも超えた感動がありました。

7月25、27日に神宮球場で行われた野球の準決勝、決勝戦。初の全校揃っての応援となりました。私は女子高出身でしたので、恥ずかしながら、高校時代は野球応援の経験がありません。他校の友人が目を輝かせながらその話をするたび、野球応援というものに憧れて

いました。時は経て十数年。太陽の日差しが痛いほどの猛暑の中での野球応援となりました。普段、炎天下に長時間立ったことのない生徒も汗だくになりながら、野球部の応援隊と一心不乱に声を振り絞っている姿がありました。そこに保護者や卒業生、その他の高輪ファンが加わり、選手と一体になって応援しているのです。一心同体とはまさにこのこと。高輪台にせよ相手校にせよ、その球場にいた人全員が一つになった瞬間でもありました。

共に喜び、悲しみ、褒め称える…。ほんの僅かなことでも、誰かと同じ心を共有するということは、本当に素晴らしいことです。そしてそれがより多くの人となれば、なおのこと。人生、そう簡単にこんな一体感を味わうことはできないものです。大人になっても、この素敵な感動を忘れないで下さい。

そんな感動を私達に与えてくれた野球部員、そして、一心に応援してくれたみんな、本当にありがとう！

夏を駆けぬけて…

石井 みなみ

3年6組 学級担任

2008年夏。3年生にとっては、高校生活最後の夏休みでした。その間に「引退」を迎えた部活動もいくつかあり、それぞれ熱い夏を過ごしたことでしょう。9月になり久しぶりに会った彼らは、部活動をやりきり、すっきりした顔つきになった様な気がします。

大切なのは試合の結果ではなく、それまでにどれだけ努力をしてきたかということ。そこで得た経験は必ず今後の人生の糧になるはずだし、共に過ごした仲間との絆は一生切れることがないと思います。だから、最後まで

部活動をやりきったことに是非誇りを持ってもらいたいです。こういった生徒の頑張りは、いつも人々に感動を与えてくれます。

全国高校野球選手権大会東東京大会において、高輪台高校野球部は準優勝という偉業を成し遂げました。球場で聴いた校歌。いったいどれだけ多くの人が声を揃えて歌ったのでしょうか。あの歌声は絶対忘れることができません。



SSH活動報告

8月19日からの5日間、2年SSHクラスの生徒が「課題実験夏季集中授業」の活動を行いました。今年から環境コースが加わり、物理・化学・生物・地学・数学の各コースに分かれ、前半の3日間は東海大学湘南校舎（数学は代々木校舎）で、大学の先生の指導のもと、高度な実習・実験を行いました。後半2日間は、本校で実験してきたことをまとめ、発表会を行いました。難しい内容ながら、高校ではできない実験・実習を、生徒たちは積極的に取り組んでいました。

環境コースで学んだこと

田村 衆記

2年9組 渋谷区立松濤中学校出身

私の選んだ環境コースでは、川の水質調査が主な内容でした。湘南校舎での講習は3日間で、初日は川の汚染の原因について、論理、歴史、生物、そして化学など、様々な観点から教えていただきました。

2日目には、フィールドワークを上流、中流の2ポイントで行い、植物の観察と水生生物の採取、薬品を使った水質の調査をしました。最後の日には、採取した水生昆虫を双眼顕微鏡と、電子顕微鏡で観察、生物のデータから川の汚染の度合いの計測をしました。

このコースの良かった点は、川でのフィールドワークを行い、実際に川の生態系や人間が川に与える影響などを肌で感じる事ができたことです。環境問題は文献等で調べるよりも、実際に現場に行って調査しその結果を分析することにより身近に感じることができました。机の上だけでなく、現場に行って調べることの大切さを学ぶことができました。



この川の上流はきれいかな？

見いだす

大頭 麗

2年9組 私立橘学園中学校出身

私は夏期集中授業で数学を選択し、東海大学代々木校舎へ3日間行きました。そこで「正多面体とは？」の講義と立方体（正六面体）から他の正多面体（正四面体、正八面体、正十二面体、正二十面体）を作製しました。数学コースは、生徒4人に対し先生は6人！マンツーマン以上でした。常に見守られていて少々息苦しかったですが、先生方には感謝しています。しかし、立方体から他の正多面体を作るにあたって私たちはほとんど教えてもらうということはありませんでした。自分で考え実践し、失敗したら考え直す。どうしてもわからない場合は先生にヒントだけ教えてもらい、メインの部分は自分で考えました。

代々木校舎での学習のあと、高輪台高校でプレゼンテーションの準備と発表をそれぞれ1日ずつかけて行いました。これらのことを通して、自分で調べ見出すことの楽しさを実感しました。



切り方を変えたらどうなるだろう

大学で学んだこと

吉田 理寛

2年9組 大田区立雪谷中学校出身

今回の講義は、それぞれの専門、また大学での講義ということで、どのコースもレベルが高く、今まで全く知らなかったということも数多くありました。その中で私は光に関するコースを選択しました。そのコースでは、赤、青、黄色に発光することのできるフルカラーLEDを使い白色発光させるための回路制作をしたり、SPD（シリコンフォトダイオード）にある一定の強さの光を当てその光センサーの特性を調べたり、光の吸収と透過の実験を行い自分たちに見える物の色はその物に吸収されなかった光の色が反射されて私たちの目の中に入り、見えているという事をあらためて実感しました。今回、私が選択した内容は光に関する事ですが最先端の技術に大きく関係している内容で、やはりレベルが高く全てを理解することはできませんでしたが、光に関しての発展的な内容は、学ぶ機会があまりないと思うので今回はとても貴重な経験を積むことができたと思います。



光・画像工学科でのレーザーの実験

お知らせ

後援会『けやき屋食堂・バザー』

ご来場をお待ちしております!!

後援会会長 賀来 陽一 学年部部長 石垣 香由紀

10月4日(土)、5日(日)両日に開催されます第44回建学祭において、本年も後援会として、けやき屋食堂とバザーの参加を予定しております。

場所 ●けやき屋食堂 / B2F 食堂 10:00～ ●バザー / B2F 物理実験室 10:00～(両日とも)

〈生徒会より〉 建学祭収益金を ユニセフへ

昨年の建学祭収益金で生徒会はユニセフに154,781円を寄付しました。ユニセフは貧困、紛争などの厳しい中で懸命に生きる子どもたちのためにこの募金を役立てます。日本ユニセフ協会から感謝状をいただきました。建学祭が間近です。今年も協力をいたします。

行事予定

October 10月

- 1日(水) 後期始業式、建学祭開祭式(7限目)
- 2日(木) 建学祭準備、学校保健委員会②、安全衛生委員会②、校医相談日
- 3日(金) 建学祭準備
- 4日(土) **第44回建学祭(～5日)**
- 6日(月) **振替休日**
- 7日(火) 建学祭閉祭式
- 8日(水) 体育祭予備日1(雨天時授業)
- 9日(木) **学年集会(高3)**
- 10日(金) 月曜日の授業、保護者面談(高2、～11月22日)
- 11日(土) **スポーツ大会(高2、本校アリーナ)**
- 12日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 13日(月) **体育の日**
- 15日(水) 体育祭予備日2(雨天時授業)
- 16日(木) **東海大学進学説明会(高1、1限)**
- 17日(金) 教育実習(～11月7日)
- 18日(土) 英検(中2、高1、高2、高3)※高1は希望者のみ
- 23日(木) **学年集会(中1、高1)**
- 25日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 30日(木) 月曜日の授業

November 11月

- 1日(土) 学園建学66周年記念式典(湘南校舎)
- 3日(月) **文化の日**
- 4日(火) 朝礼、建学記念式典
- 付属推薦合格発表手続期間(高3)(～14日)
- 6日(木) **マナー講習会(中1)**
- 7日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 8日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 12日(水) 月曜日の授業
- 13日(木) 一斉公開授業②
- 14日(金) 一斉公開授業②
- 15日(土) 保護者会(高1)、東海大学付属推薦者保護者会(高3)
- 16日(日) 英検2次、受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 19日(水) 金曜日の授業・専門医によるカウンセリング
- 20日(木) 生徒会立会演説会(1限目)、校医相談日
- 22日(土) **スポーツ大会(高3、アリーナ)**
- 23日(日) **勤労感謝の日**
- 24日(月) **振替休日**
- 27日(木) 生徒による授業評価アンケート③
- 29日(土) 後援会委員総会

English Summer Camp (中等部2年)



編集後記

アメリカの大手証券会社リーマン・ブラザーズ破綻の衝撃は世界中を駆けめぐった。日米ともに政治的トップが交替し、10年前の日本のバブル崩壊どころか、80年前ニューヨークのウォールストリートから始まった世界恐慌の再来を危ぶむ声すらある。世界恐慌の後に起きたのが、第2次世界大戦であったことを忘れてはならない。世界経済の混乱を回避するためにも、各国の叡知と協力を結集することが不可欠であろう。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>